取扱説明書

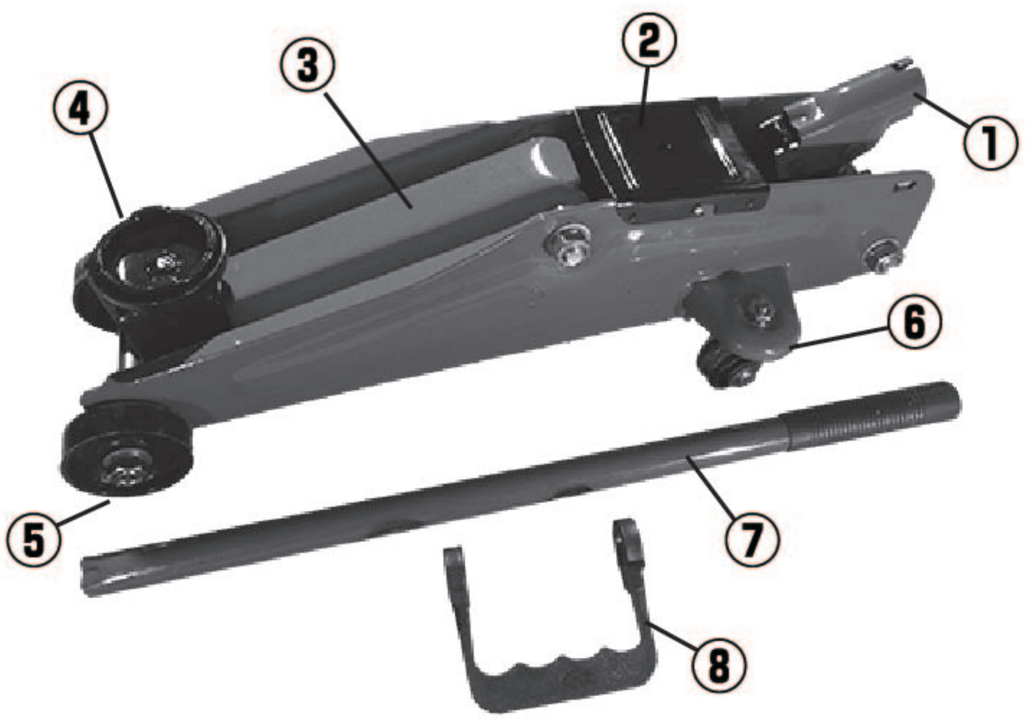
モノタロウ 油圧フロアージャッキ (2t)

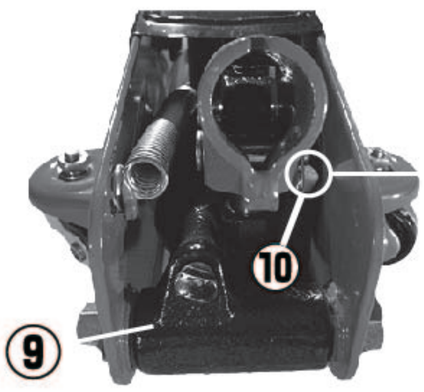
注文コード:70335274

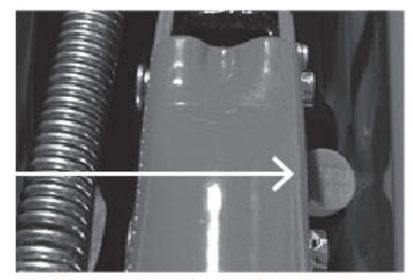
このたびは、油圧フロアージャッキ(2t)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
また、改良のため予告なく仕様変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

1 各部名称

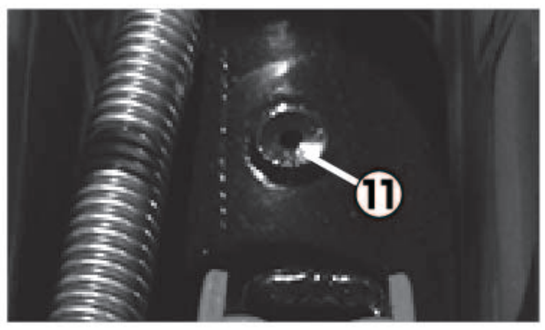
①	レバーソケット
②	カバー
③	リフティングアーム
④	サドル
⑤	前輪
⑥	キャスター
⑦	レバー
⑧	ハンドル
⑨	リリースバルブ
⑩	安全バルブ
⑪	オイルプラグ







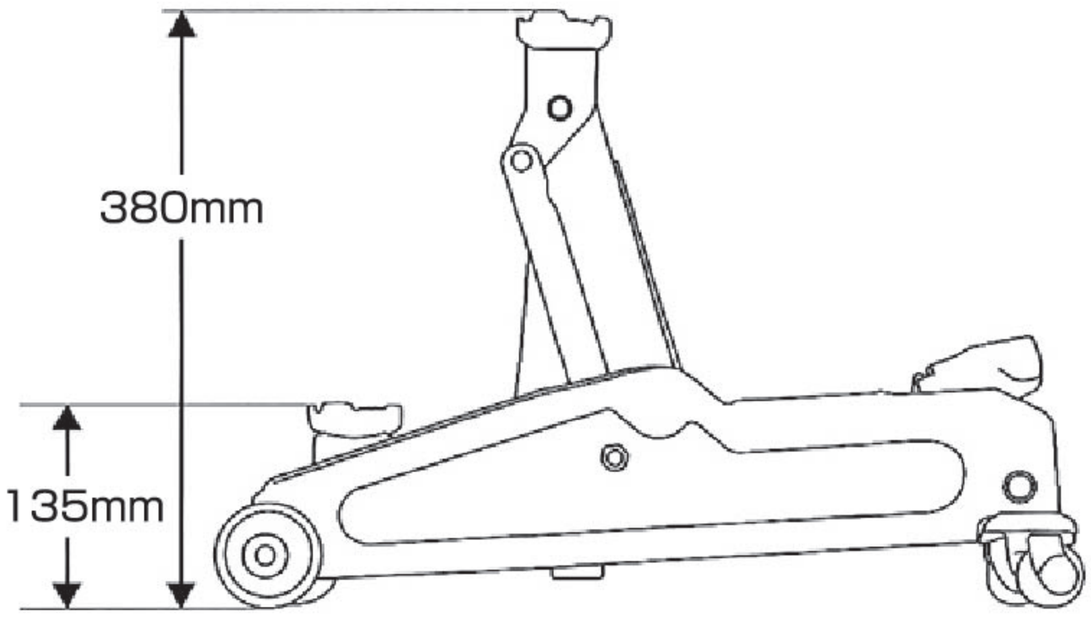
※安全バルブは絶対に
触らないでください!



②のカバーを
開けた状態

2 仕様

最大耐荷重	2トン
適用車両	2トン以下
寸法(L×W×H)	510×205×145
揚程	最高位 380mm
	最低位 135mm
質量	10.2kg
サドル寸法	φ60mm
レバー長さ	500mm
作動油	ISO VG10
作動油量	110mL



3 安全にお使いいただくために

⚠危険 この表示内容を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。

⚠警告 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

⚠注意 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

4 ご使用方法

■ 使用前の注意

⚠危険

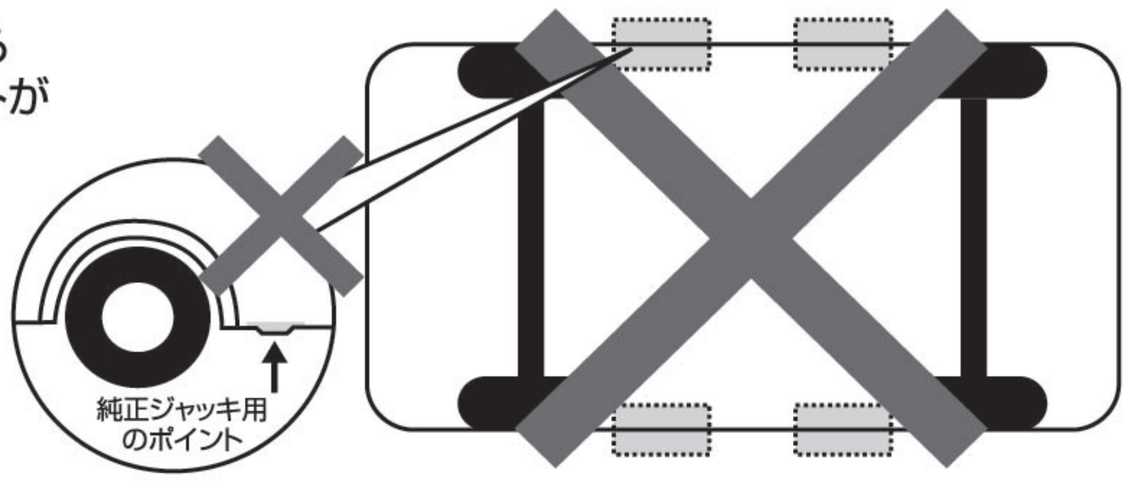
●本製品は自動車のタイヤ交換や整備のためのものです。本来の用途以外で使用しないでください。また、本製品を絶対に改造しないでください。
●ジャッキを使用する際は、車体の下や周りに人や物などがないことを確認してから作業を行ってください。また、ジャッキアップ中に車両の下へ手、足、身体を入れないでください。ジャッキを下げる際も車両の下、周囲に人や物がないことを確認してください。
●ジャッキを設置する際は使用中に絶対にジャッキが外れない部分に設置してください。ジャッキアップしている対象物を破損させたり、対象物が落下するなどの危険性があります。
●本製品はジャッキアップするためにご使用いただくものです。ジャッキアップ状態を保持するためのものではありません。
ジャッキアップした状態のままで保持させる際は、必ず別売のジャッキスタンドを2個ご使用ください。
●ジャッキを使用する前に負荷のない状態でジャッキアップテストを行ってください。
●最大荷重(2t)を超える負荷で使用しないでください。
●安全バルブは適正な荷重になるように出荷時に調整されているため、絶対にさわらないでください。
●ジャッキアップした状態で車両から離れないでください。

⚠警告

●本書をよく読み十分に理解したうえで使用してください。本書に記載の注意事項を必ずお守りください。
●本製品は自動車整備に関する一般的な知識を有する方が使用することを前提に作られています。
●ジャッキに異常が発生した場合(オイル漏れ、変形など)、使用をただちに中止して、異常箇所の修復を完全に行うまで使用せず、弊社お問合せ窓口までご連絡ください。そのままご使用になった場合、重大な事故につながり大変危険です。
●ジャッキアップする際は必ず平らで固い路面の上で行ってください。傾斜地や凹凸のある地面、柔らかい地面では使用しないでください。
●ジャッキアップする前に、必ず車のサイドブレーキを引き、ジャッキアップしない方のタイヤに輪止めをしてください。
●ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカー・販売店などへ問合せ、必ず事前に確認してください。

必ずジャッキポイントが適切な位置か確認してから
ジャッキアップしてください。また、ジャッキポイントが
わからない方は、使用前に販売店および
整備工場で確認してください。

★純正ジャッキ用のポイント(右図 ▭ 部分)で
本製品を使用すると、車両を破損させる
おそれがあります。このジャッキポイントでの
使用は絶対におやめください。



●電子制御サスペション車の場合は、必ず自動車に添付の取扱説明書を確認してからジャッキアップしてください。
●車両指定のジャッキポイントでジャッキアップする場合、ジャッキポイントの形状とサドルの形状が合っているかを必ず確認してください。形状が合わない場合に無理にジャッキアップするとジャッキポイントが破損するおそれがあります。
●ジャッキアップやジャッキダウン中にジャッキアップした物を揺らしたり、力を加えたりしないでください。また、レバー以外の場所には絶対に触れないでください。
●ジャッキアップ中にジャッキポイントとサドルがずれることがありますので、時々確認しながら作業を行ってください。
●ジャッキを下げる際は、必ずゆっくりとレバーを回してリリースバルブを緩めてください。速く緩めると車両が急に降下して大変危険です。
●必要以上に対象物をジャッキアップしないでください。

⚠注意

●2台以上の複数のジャッキを同時に使用しないでください。
●ジャッキを持ち運ぶ際や、ジャッキの上げ下げの際に、ジャッキの可動部分で指などを挟まないよう注意してください。
●ジャッキアップする時以外はレバーを本体から外しておいてください。
●購入時はリリースバルブは少し緩んだ状態です。
●本製品は業務用には使用しないでください。

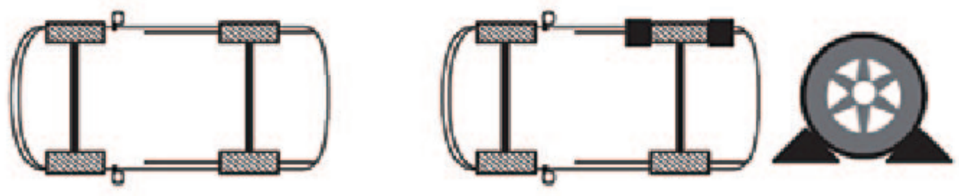
■ 使用前の準備

ジャッキアップする前に以下の準備をしてください。

【ジャッキアップ前の確認】

●必ずジャッキポイントの位置でジャッキアップしてください。ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカーや販売店などへ問合せ、必ず事前に確認してください。

●ジャッキアップする際は、必ずタイヤストッパーを下図のようにジャッキアップするタイヤの対角線上のタイヤにかけてください。

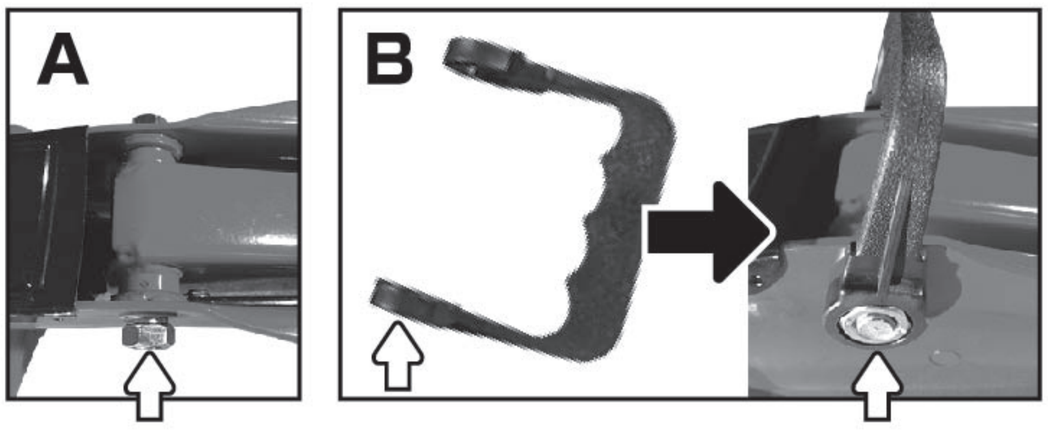


【ジャッキアップ前の準備物】

ジャッキスタンド(3t)
注文コード:19263886

タイヤストッパー(2トン用)
注文コード:41446167

①付属のハンドルをジャッキ本体のナットの片側に合わせてはめ込んでください。(右図A)
②ハンドルの反対側を少し外に引っ張りながらもう片方のナットにはめ込みます。両方はまったらナットがしっかり入っているか確認してください。(右図B)
その後、少しだけ持ち上げ軽くゆすり、ハンドルが外れないか確認してください。



⚠危険

●ハンドルを持ってジャッキを持ち上げている際に大きくゆすったり、斜めに持ち上げないでください。ハンドルが外れてジャッキが足の上などに落下する可能性があり大変危険です。

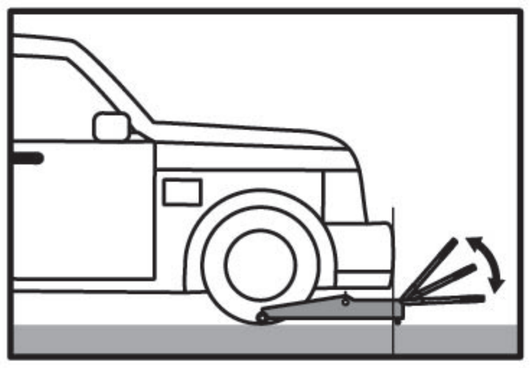
■ ジャッキアップの手順

①平らで固い路面にジャッキを置き、車両のジャッキポイントの位置にサドルを合わせます。

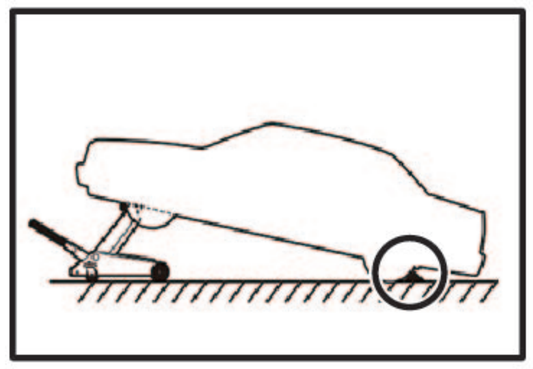
⚠警告

●左右両輪をジャッキアップする場合は、反対側の車輪に必ずタイヤストッパーなどの車輪止めを使用してください。

●ジャッキアップの際に自動車のサイドブレーキをかけ、シフトはP(パーキング):A/T車、ロー:ミッション車の位置にして作業してください。



これ以上車体の下に入れるとハンドルの上下操作ができなくなります。

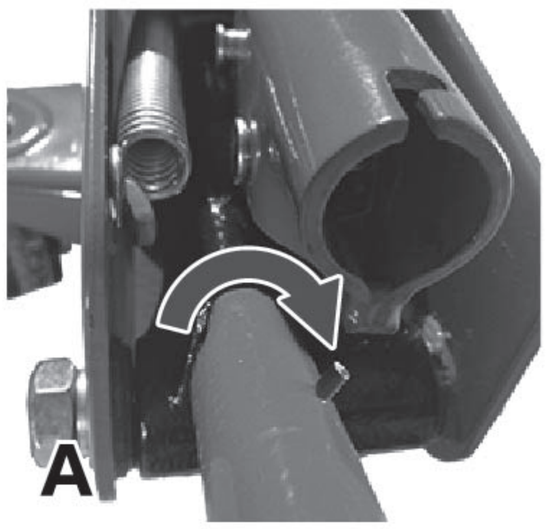


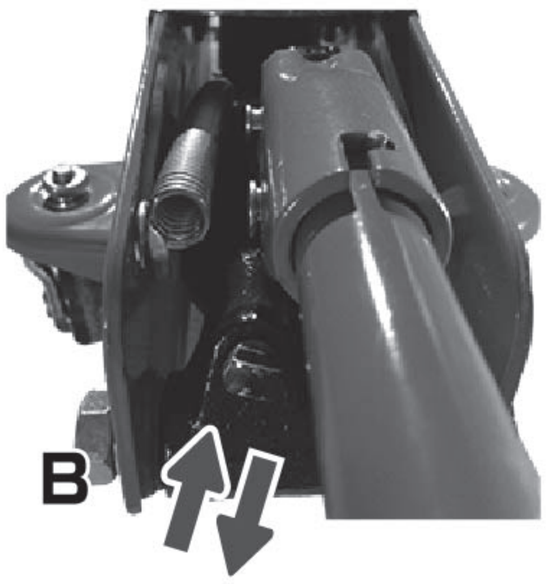
②レバー先端をリリースバルブに差込み、時計回り(右)に回して、リリースバルブをしっかりと締付けてください。(下図A)
締め付けが弱いとジャッキアップしないばかりかジャッキアップ中に下がってくる危険もありますので、必ずしっかり締めてください。
ただし、過度に締め付けると故障の原因になります。

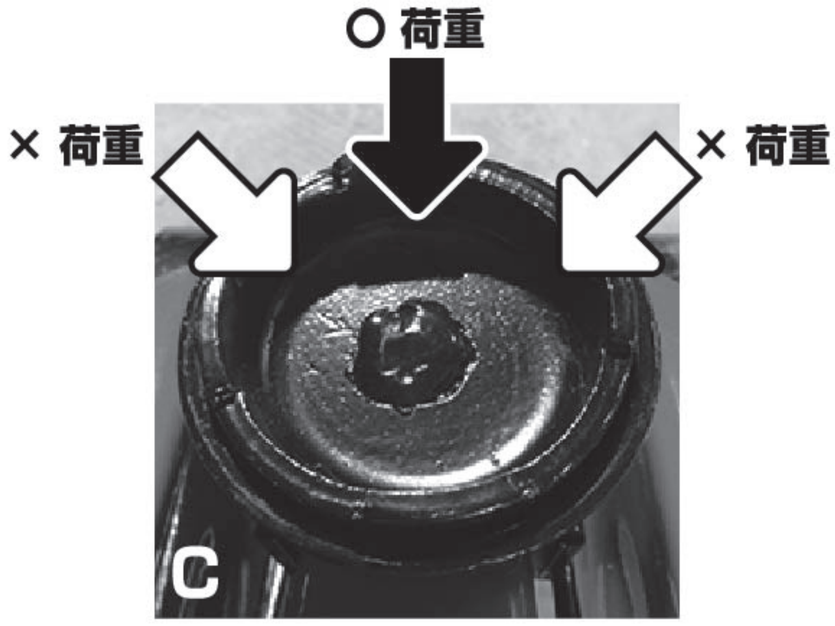
③レバーをレバーソケットに差し込み、上下に動かして(下図B)サドルをジャッキポイントの近くまであげて、いったん停止します。

④荷重がサドルの中心にまっすぐかかることをよく確認します。(下図C)

⑤確認できたら、再度レバーを上下に動かして車両をジャッキアップします。







⚠警告

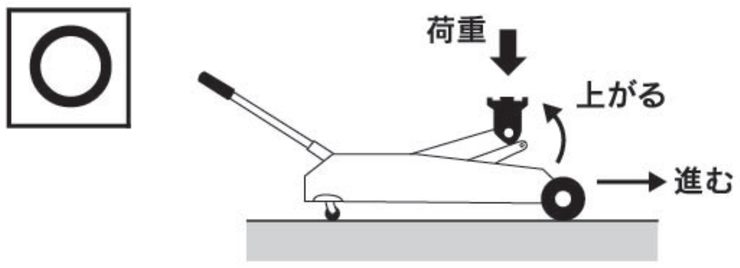
●必要以上に対象物をジャッキアップしないでください。故障の原因になるだけでなく、ジャッキポイントの変形や荷重バランスの崩れによる事故の原因となります。

●ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカー・販売店などへ問合せ、必ず事前に確認してください。

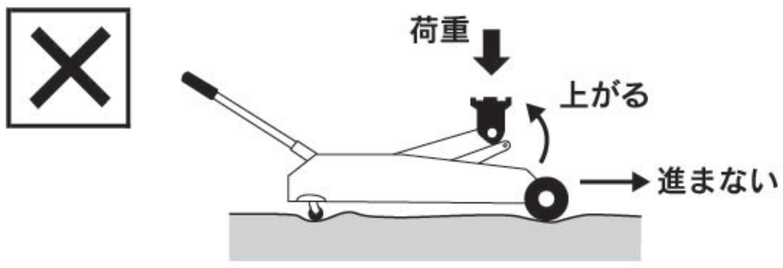
●自動車メーカーの指定するジャッキポイント以外では、ジャッキアップしないでください。車体が変形したり荷重バランスの崩れにより**重大な事故**につながります。

●傾斜地や地面が軟弱な場所および平坦でない場所やジャッキの車輪が容易に回らない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車が落下し**使用者が死亡したり負傷を負う危険があります。**また、傾斜地ではジャッキアップ中に**自動車が動きだして重大な事故になります。**

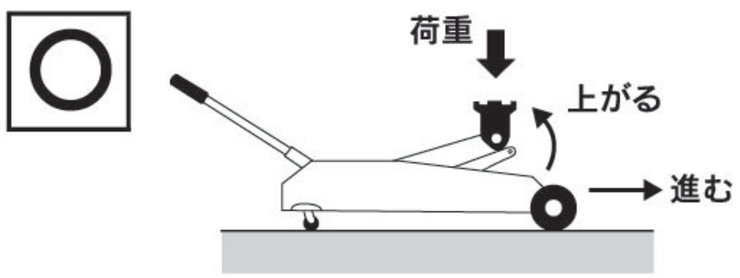
●強固な地面(可)



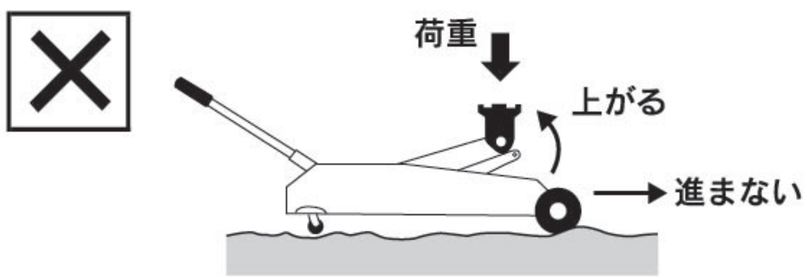
●柔らかい地面はめり込んで進まない(不可)



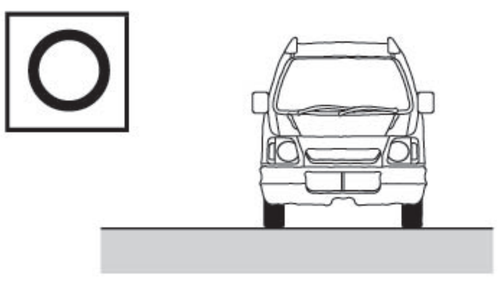
●鋼板等の強固な板を敷いた場合(可)



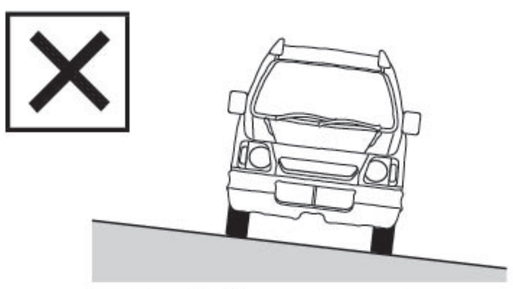
●凹凸な地面は前に進まない(不可)



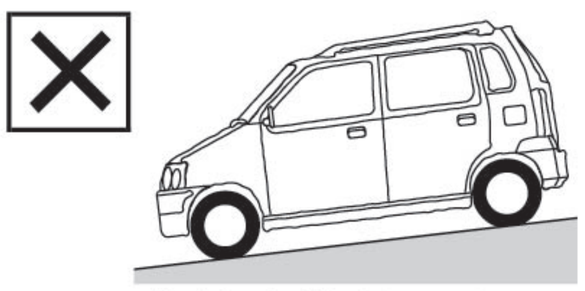
●傾斜した場所や勾配のある道路では使用しないでください。



水平で強固な場所(可)



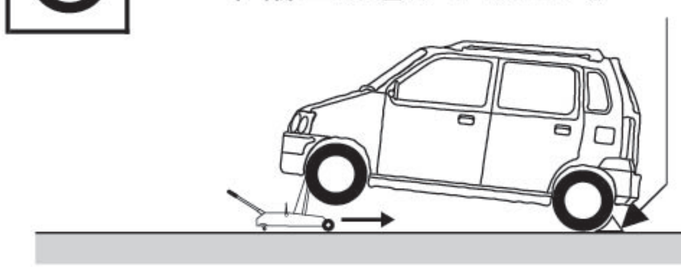
傾斜した場所(不可)



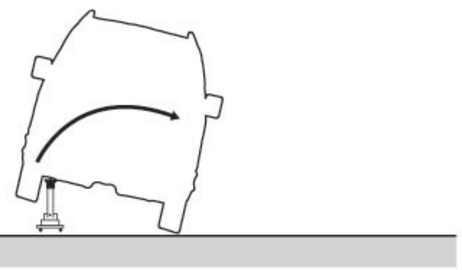
傾斜した場所(不可)

●サドルを上昇・下降させた時に、ジャッキが追従して移動することを確認してください。移動しないまま使用すると、サドルがジャッキポイントから外れ、自動車が落下し**死亡事故や重傷を負う危険**があります。

○ ※図のようにジャッキアップ反対側に車輪止めをしてください。

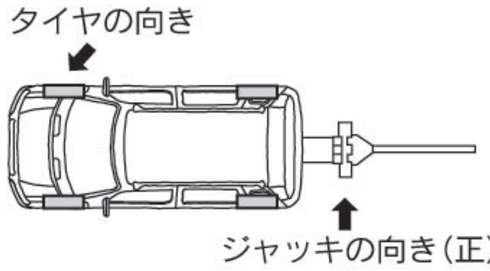


× 負荷点が移動

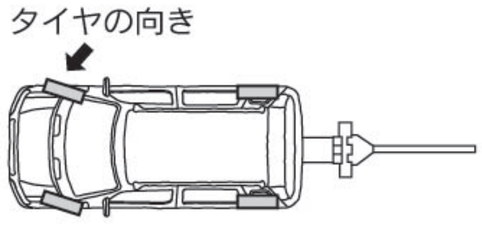


●ジャッキアップの際は、車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐにいれてください。
ジャッキの向きが斜めになっている状態でジャッキアップした場合、サドルがジャッキポイントから外れ自動車が落下し**使用者が死亡したり重傷を負う危険**があります。

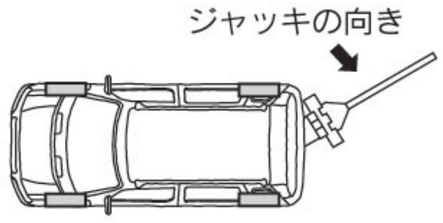
○



×



×



●サドルを上昇させて、サドルが車体に当たった時点で一時停止させて、サドルが車体のジャッキポイントの正しい位置(荷重の中心がサドルの中央にかかる位置)にセットされていることを確認してください。セットする位置がずれていた場合、車体が変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

⚠注意

●重たい荷物や人をのせたままジャッキアップしないでください。
●自動車のエンジンをかけたままで使用しないでください。
●レバーの上下操作はレバーをしっかり握って操作してください。ジャッキに異常が発生した場合、レバーが急にはね上がったり操作が軽くなることがありケガにつながり危険です。
●パンタジャッキ用のジャッキポイントでジャッキアップしないでください。
●ジャッキが上昇しない場合やジャッキが下がってしまう場合は、リリースバルブが緩んでいる可能性がありますので、レバーを時計回り(右回り)に回してリリースバルブをしっかり締めてください。
●電子制御サスペション車の場合は、必ず自動車に添付の取扱説明書を確認してからジャッキアップしてください。

■ 一定の高さで保持する場合

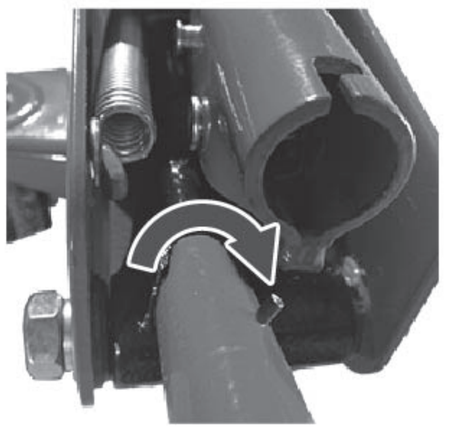
レバーの上下操作を停止すると、サドルが自動車を保持したままの状態になります。

⚠警告

●ジャッキアップした状態のままで車体の下には絶対に入らないでください。
車体の下に入って作業する場合は必ず十分な耐荷重のある別売のジャッキスタンドを使用してください。
●ジャッキアップした状態のままで自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。
●ジャッキアップ中はレバーを回転させてリリースバルブを締めたり、ゆるめたりは絶対におやめください。

■ ジャッキダウンの手順

①レバー先端をリリースバルブに差込み、ゆっくりと回すとリリースバルブが緩み、サドルが下降します。(右図)
この際、180° (半回転)以上緩めないでください。



⚠警告

●レバーを急に回さないでください。リリースバルブが急に緩みサドルが急激に降りると自動車が落下し**使用者が死亡したり重傷を負うおそれ**があります。

⚠注意

●オイル漏れや故障の原因になりますので、レバーは180° (半回転)以上回さないでください。
●ジャッキダウンの際に可動部分で手や指を挟まないように注意してください。

■ 作業終了

作業が終了したらサドル、リフティングアームなどに付着した泥, オイル, グリス, 水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

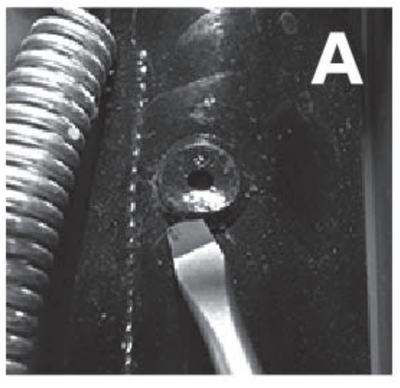
5 メンテナンス

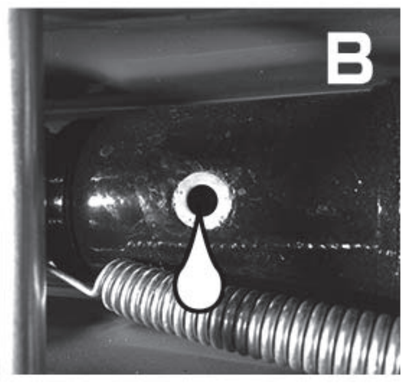
■ ジャッキのお手入れ

①ジャッキを使用しない時は、錆などによる動作不良防止のため、リフティングアームを最下部まで下げておいてください。
②ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
③オイルの量が減少した場合、下記「ジャッキオイルの補充および交換」を参照のうえ、適量を補充してください。
④頻繁にご使用になる場合、良好な状態を保つため、約1年ごとにジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換参照)
⑤錆や動作不良などの故障の原因になりますので、雨や雪の当たる所および湿気の多い所では保管しないでください。

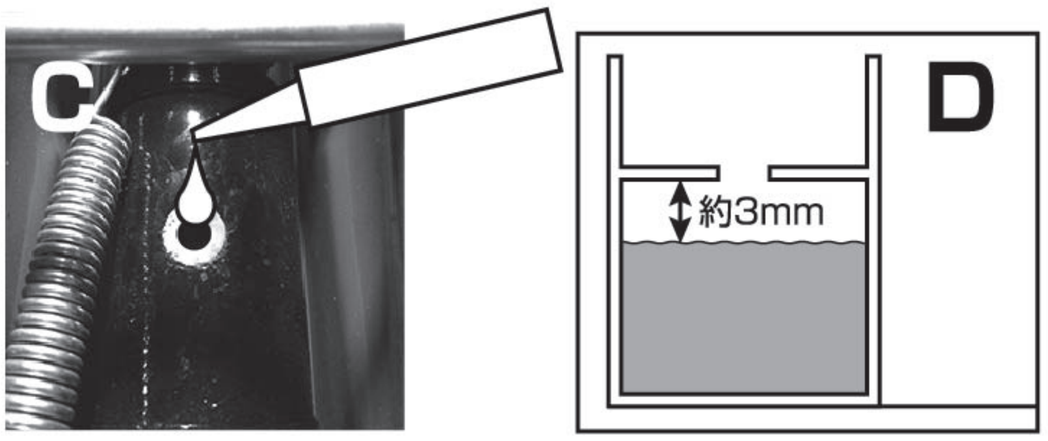
■ ジャッキオイルの補充および交換

①カバーをスライドさせて外します。
②オイルプラグをマイナスドライバーやプライヤーなどで外して、リリースバルブを緩めます。(右図A)
※リリースバルブは180° (半回転)以上緩めないでください。
③本体を注意しながら持ち、オイルプラグの穴を下に向けて古いオイルを排出します。(右図B)

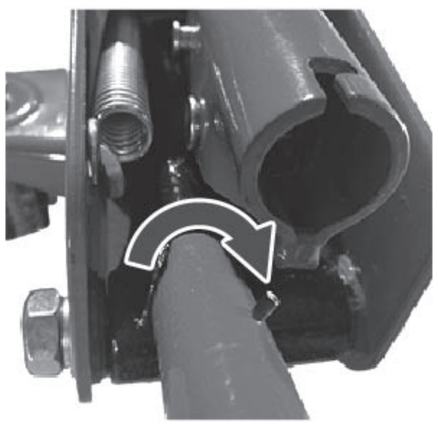




④オイルを排出した後にジャッキオイル(別売)をオイルプラグの穴から入れすぎに注意して少量ずつ注入してください。また、オイル注入中にゴミが入らないように注意してください。(右図C)
※ジャッキオイルの適量はジャッキを水平な場所へ置き、リフティングアームを最下位まで下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約3mmの空間を設けた位置です。(右図D)オイルタンク一杯にオイルを入れるとジャッキが作動しませんのでご注意ください。



⑤オイル補充後にサドルが途中までしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足またはエアー抜きが完全に出来ていないことが考えられますのでジャッキオイルを適量まで補充して、エアー抜きをしてください。(下記手順)



レバーを反時計回り(左回り)に回し、
リリースバルブを緩めます。
※リリースバルブは180° (半回転)以上
緩めないでください。

オイルプラグを取外します。

約10回ほど上下にポンピング
します。

⑥補充作業が終了しましたら、オイルプラグを元の状態に戻してください。

⚠警告 ●火気のある場所やその近くでオイル充填および交換をしないでください。
また、通気の良い作業環境で行ってください。

⚠注意 ●エンジンオイルやその他のオイルは粘度などが違うため作動不良の原因となりますので絶対に使用をおやめください。
必ずジャッキ専用オイルを使用してください。

6 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度本書をよくお読みになり、下記の点検をしてください。それでも状態に変わりがない場合は、
弊社お問合せ窓口へご相談ください。

症状	原因	対策
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブをしっかり締める
適正負荷でジャッキアップしない	オイル不足	オイル補充
	油圧ユニットの故障	弊社お問合せ窓口へご相談ください
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする
	油圧ユニットにゴミ混入	オイル強制循環をする(本ページの手順参照)
ジャッキが上で停止しない(自然に下降する)	オイル不足	オイル補充
	オイル漏れ	弊社お問合せ窓口へご相談ください
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブをしっかり締める
ジャッキが最高位まで上がらない	オイル不足	オイル補充
	オイル過多	余分なオイルを抜く
ジャッキが最下位まで下がらない	各部の錆	潤滑剤注油
	リターンスプリングの錆、へたり	リターンスプリングの交換
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする

■ オイルの強制循環

①ジャッキを水平な場所へ置き、レバーを反時計回り(左回り)に回し、
リリースバルブを緩めます。
※リリースバルブは180° (半回転)以上緩めないでください。
②前輪のシャフトに足をかけて手でリフティングアームを最高位まで
すばやく引き上げます。
③②の作業を数回繰り返します。
この作業により油圧ユニット内に混入したゴミが
オイルタンク内に移動します。

株式会社 MonotaRO https://www.monotaro.com/ TEL:0120-443-509
MADE IN CHINA
作成日 2017.12.27